



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

第59回 建学祭「Modern×Traditional」開催

TOP*NEWS

高校陸上競技部 山田 南さん U18出場決定!

中等部吹奏楽部 東日本学校吹奏楽大会 金賞受賞!



建学祭を終えて

建学祭実行委員長 3年7組 仁多見 哲平

今年の建学祭はどうだったでしょうか。今年は模擬店や、外部の来場者の入場制限解除など、コロナ前の規制がされていなかった本来の形での建学祭となりました。午前・午後だけで終わってしまった昨年とは違い、丸一日開催となり、かなり疲れたのではないのでしょうか。また今年は模擬店が復活となり、4店舗だけという形にはなりましたが、出店することもできました。どの出店団体もルールを守り、去年とはまた違ういい雰囲気で行うことができ、とてもよかったと思いました。

今年はインフルエンザにもとても苦しめられました。私もインフルエンザにかかってしまい、前日の準備日まで学校に来ることができず、たくさんの方に助けられました。当日はインフルエンザ予防のため、皆さんにはマスク着用をお願いしましたが、より良い建学祭にできたことを皆さんに感謝しています。ありがとうございました。



後援会によるバザー、けやき屋食堂も復活しました

文化や伝統の継承の表現

ポスター・パンフレット表紙デザイン 3年2組 刈込 もも

今年のスローガンの「伝」、テーマの「Modern×Traditional」が発表されて最初に浮かんだのが、描かせていただいた宇宙飛行士と着物の組み合わせでした。細かい模様や部品があり自分の技術では拙いところもありましたが、楽しく描くことができました。来てくださった方たちがパンフレットを見る際に、一目で今回の建学祭のテーマが伝わればいいなと思いながら制作に取り組みました。建学祭という大きな学校行事の冊子の表紙に載せていただきとても光栄に思います。

門づくりを通して ～感謝～

宣伝・設営部門長 3年5組 清水 基継

今年は「Modern×Traditional」というテーマに沿い、和柄を基調とし、さまざまな色を使ったデザインにしました。昨年より門づくりの予算が減ってしまったり、なかなかアイデアが決まらなかったりなどの苦労がありましたが、部門の生徒、先生方、それ以外にも多くの方々のご協力があり、入場門を作り上げることができました。深く感謝申し上げます。私たちが作成した門が少しでも今回の建学祭に彩りを添えられたのなら幸いです。改めて、ご協力ありがとうございました。



第59回 建学祭 「Modern×Traditional」開催!

2023年度 第18回 知財グランプリ審査結果

「知財グランプリ」とは、クラス出展団体（展示部門のみ）のうち最も創造性と主体性を発揮した団体を表彰するというものです。企画内容や取り組み（接客態度）、教室の装飾などを保護者・生徒・教員の代表者が総合的に審査します。グランプリには賞状とトロフィーが、準グランプリと最優秀ポスター（模擬店部門での出展も含む）の作者には賞状が授与されます。今年度は2クラスが同点でグランプリに輝きました。



★グランプリ みかづき 3年1組 「三一着古遊館」

昨年度の準グランプリ「Marine Treasure」に続いての受賞です。クラス全員が浴衣の着付けやお手入れの仕方を学習したということで、どの時間帯に訪れても高い水準のサービスが提供されていました。廊下に掲出されていた毛筆の惹句と、淡い色彩の提灯が張り巡らされた内装も絶妙に調和していて、「和服を着る文化がずっと続きますように」というメッセージが十分に伝わってきました。

★グランプリ 1年10組 「白瀧呉服店高輪台支店」

浦賀沖に黒船が来航した嘉永6（1853）年に創業したという呉服店とのタイアップ企画で、袴の着付けは女将さんに教えてもらったそうです。紅葉が舞う背景のスタジオには小道具（番傘）も用意しており、本格的な写真撮影ができました。振り袖や紋付き袴を現代風に着こなしている人物が描かれた、レトロな色合いのポスターも高い評価を集めていました。



★準グランプリ 3年8組 「まきちゃんの赤い糸!？」

Modern（現代）とTraditional（伝統）のどちらかに寄せた制作体験の出展が多かった中、今風でありながら発祥地（ポルトガル）では長い歴史を持つ装身具であるミサンガをチョイスした目のつけどころが秀逸でした。黄色と黒を基調とした飾りつけも統一感があって、他クラスとは一線を画していました。

★最優秀ポスター 3年10組 「フワフわたがし」 作：高橋 真凜

ぬいぐるみのくまと綿菓子のふわふわな質感がとてうまく表現されていて、通りがかった人たちが思わず立ち止まってポスターを見つめるというシーンを何度も見かけました。商品の提供方法（2色セット・カップ入り）や販売価格もしっかりと描かれており、すべての審査員が満点をつけました。



〈建学祭企画〉スピーチコンテスト・ディベート大会

本校では、2001年度より建学祭において日ごろの学習成果を披露するスピーチコンテスト・ディベート大会を開催しています。この4年間は台風や新型コロナウイルス感染症の影響で平日に学年行事として実施していましたが、今年度は5年ぶりに建学祭の一企画として行うことができました。

第23回 英語スピーチコンテスト(高1)

優勝	10組 屋良 亜美
準優勝	10組 八木 霖香
3位	1組 兼田 歩海

10組 屋良 亜美



左から順に、八木さん、屋良さん、兼田君

今回のスピーチコンテストでは英語での発表を行いました。事前に考えたスピーチ文を何度も練習、暗記し、どうしたらみんなにわかりやすく伝わるのかジェスチャーを研究しました。実際ステージに上がり学年全体を目の前にすると緊張しましたが、今までの練習成果を見せるべく自分のできうる最大限の力を出し切れたと思います。緊張しているからこそ堂々とした姿勢をとり、自分の意見を多くの人の前で話すのは、普段ではできない良い経験になりました。

第22回 日本語ディベート大会(高2)

【論題】

高輪台高校は生徒のアルバイトを認めるべきである。是か非か。

肯定側		立論	否定側	
7組	細川 智穂		8組	塩崎 迅一朗
5組	加藤 運太郎	質疑	1組	高良 昌里
4組	小山 潤太	第一反駁	10組	山下 啓樹
6組	長野 正典	第二反駁	9組	橋本 翼
3組	森泉 結菜	記録	2組	永沼 翔弥

優勝：否定側

10組 山下 啓樹

日本語ディベート大会に参加し、自分の意見を伝えるためには声の強弱やジェスチャーを使うことが有効的だと感じました。これは普段の会話においても言えることで、「ここが大事だから聞いてほしい」というところは、少し強調して言う相手もわかりやすく、伝わりやすいのではないかと思います。ディベートは文章と違って、双方向のやり取りなので必ず相手の意見が存在します。それを聞き取るのも、自分の意見を深めるために必要なことだと感じました。



後列(肯定側)左から小山君、長野君、加藤君、森泉さん、細川さん
前列(否定側)左から塩崎君、高良君、永沼君、山下君、橋本君

第21回 英語ディベート大会(高3)

【論題】

Traveling overseas is better than traveling in Japan.

肯定側		立論①	否定側	
8組	周 浩栄		10組	高山 ひかり
4組	佐藤 遙太	立論②	1組	永井 晴香
6組	紫関 錬	反駁①	3組	佐藤 沙
9組	永井 彩花	反駁②	7組	水品 皓暉
5組	田嶋 杏奈	最終弁論	2組	内山 美咲

優勝：肯定側 (Overseas is better)

4組 佐藤 遙太

今回は、初めて全校生徒の前で英語でのディベートをしました。授業とはまた違った緊張感と達成感を得られました。授業では1人で内容を考えていましたが、今回はみんなで協力して議論を繰り返しました。そのため、授業だけでは気づけなかったディベートの楽しさや難しさに気づくことができたのも、大きな成長だと思っています。そして、このディベートで優勝ができたことで、自分の英語力にさらに自信がつけました。



後列(否定側)左から高山さん、永井さん、内山さん、佐藤さん、水品君
前列(肯定側)左から周君、紫関君、永井さん、田嶋さん、佐藤君

2023年度学校運営方針

今回は、今年度の実践目標の中から、「あらゆる行事を通して、豊かな情操を培い、素晴らしい人間関係をつくりあげる」についてご紹介いたします。

実践目標

あらゆる行事を通して、豊かな情操を培い、素晴らしい人間関係をつくりあげる

秋は、気候が穏やかになり多くの学校でさまざまな行事が予定されています。本校でも、10月7日、8日に建学祭が実施され、生徒たちはクラスでさまざまな催しを行い、有意義な時間を過ごしました。その他に、体育祭、剛健旅行、スポーツ大会、芸術鑑賞、合唱祭、研修旅行、イングリッシュ・サマーキャンプ、Tokyo Sightseeing Tourなど、本校にはさまざまな行事があります。このような行事は、とすれば、スポーツを行う、歌を歌うなど、当日の行為そのものに焦点があたりがちですが、学校行事として、準備から実施まで含めて大きな意味、ねらいがあります。

学校の行事というのは、生徒一人ひとりが、その過程で、集団の中での自分の役割や必要性、自己存在感や自己肯定感を感じ、将来必要となる社会的資質・能力を身につけていくためにとても重要な役割を果たしています。生徒たちは、考えを出し合い、お互いの意見を尊重し、協力し合って、行事の成功を目指します。このような経験を通して、生徒たちは、達成感や充実感を味わうことができ、自分やクラスに自信と誇りを持つことができるようになります。そして、自分たちが努力することによって、他者の努力に気づくことができ、他者を認め、大切に思う気持ちを持つことができるようになるのです。

私たち教員は、生徒たちがこれらの行事に主体的に取り組み、行事を通して人間的に成長できるようにサポートを行います。保護者の皆様には、さまざまな学校行事に取り組む生徒たちの様子を見守っていただけますようお願いいたします。

部・同好会活動報告

男子バスケット
ボール部

国体キャプテンに選出!

たくさんの人に支えてもらった 鹿児島への挑戦

2年7組 今村 優志

10月11日から鹿児島で行われた特別国民体育大会に東京都代表として出場し、全国5位という結果を残すことができました。今回の国民体育大会に出場できたのは、これまでの自分の競技生活において関わってくださったすべての方々、学校長をはじめ、顧問の妻沼先生や堀先生、国体の監督、スタッフなどの応援とサポートのおかげだと思っています。今年チームがスタートしたときに目標としていた全国制覇はできませんでしたが、代表チームのキャプテンを務めたことや他県の選抜チームと対戦したことは、大切な自分の財産になりました。この経験を今後の自分の人生に活かしていきたいです。今回無事に大会を終えることができたのは、運営していただいた鹿児島県の方々、スポンサー、都民の皆様の応援があったからだと思います。心から感謝しています。本当にありがとうございました。今後はこの経験を活かしながら、感謝を忘れることなく新しいステップにチャレンジしていこうと思います。



SSH活動報告

SSHクラス3年生課題研究の成果発表

SSHクラスの3年生の課題研究も終盤です。7月以降、多くの生徒がさまざまな研究発表会に参加し、その成果を報告しました。

- 7月15日 東海フェスタ(主催:名城大学附属高等学校 会場:名城大学) ※「飛躍」9月号に感想を掲載
佐藤颯・小澤彩豊「ウッドチップの有無による土壌生物相の変化」
西崎孔明「ミドリムシの環境による個体数の変化」 西原美海「桧角材の強度を調べる」
- 7月15日 高校生環境フォーラム(主催:福井県立若狭高等学校 オンライン英語発表)
屋心愛・常深正泰「Effects of weather and soil quality on bamboo growth in Trang and Tokyo」
- 7月20日 芝高課題研究発表会(主催:新潟県立新発田高等学校 オンライン英語発表)
渡邊晃大「Growing of killifish in different environments」
- 7月22日 START2023(主催:山形県立東桜学館高等学校 オンライン英語発表)
高山ひかり「Study on the Production of Yogurt with Banana Pulp」
- 8月9・10日 SSH生徒研究発表会(主催:国立研究開発法人科学技術振興機構 会場:神戸国際展示場) ※「飛躍」10月号に感想を掲載
須藤礼名「花びらを利用したリップクリーム作りについて」
- 9月10日 四葉祭・SSH生徒交流会(主催:会場:東京都立科学技術高等学校)
西崎孔明「ミドリムシの環境による個体数の変化」
西原美海「桧角材の強度を調べる」
- 9月30日 高校生理学研究発表会(主催:会場:千葉大学)
桐敷尚徳・三溝遼人・泉晴登「シイタケの成長と光色の関係」
梅谷光「菌の成長を阻害する食品」
高橋真凛・大野悠空「首都高速を使わないで行く最短経路の模索」
稲葉柚俐「ショーケースに占める飲み物の種類の違い」(ポスター掲示のみ)
石井花音「各環境下におけるプラナリアの成長速度の違い」(ポスター掲示のみ)

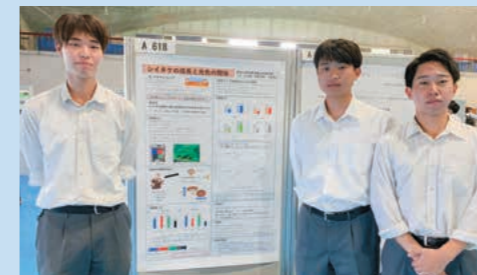


四葉祭で発表する西原さん

9月30日に千葉大学で開催された高校生理学研究発表会に参加した桐敷君と高橋さんの感想を紹介します。

千葉大学の発表会に参加して思ったこと

3年10組 桐敷 尚徳

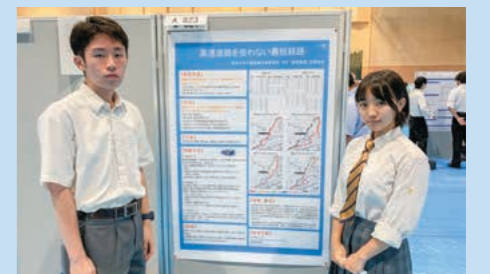


左から三溝君、桐敷君、泉君

発表会に参加して、研究活動に熱心に取り組んでいる学校がたくさんあることに驚きました。また、同じような研究テーマでも研究者の捉え方が異なれば、全く違う研究になることもわかりました。自分の発表に関しては、方法にミスがないか、考察が結果に基づいているのかなど、さまざまな不安がありました。今回の研究発表会で、大学の教授や他校の生徒の方々に私たちの研究を評価していただいたことで、自分の研究に対して自信を持つことができました。このような実りのある発表会に参加できて良かったです。

発表の経験から得た学び

3年10組 高橋 真凛



左から大野君、高橋さん

今回の発表では、発表側としても聞く側としても学びがありました。発表側の際には、発表を重ねるたびに相手にいかにわかりやすく話すかを工夫するようになり、回数を重ねるほど良い発表ができたのではないかと思います。また、今回の発表は話すことよりも聞きに来てくださった方との対話がメインだったので、その際に実験内容に対してさまざまなアドバイスをいただくことができました。そのことを今後活かして新しい見方で研究を進めていきたいと思っています。他校の研究はどれもとても興味深く、実験内容も充実したものが多かったので、聞いて学びが多かったです。この貴重な経験を今後研究以外の場所でも活かすことができたらと思います。

学年だより 中1

初めての写生大会

前期期末試験後の9月15日(金)、葛西臨海公園にて写生大会を行いました。暑い中の行事となりましたが、「芸術の秋」を堪能したようです。

自然の中で

A組 佐々木 優奈

私はこの写生大会で、鮮やかな緑と海、そして空、岩の全部が見える場所を探して描きました。初めての写生大会でこの4つのバランスが良くなるように描くことを意識し、この絵を見ただけですぐにこの場所だということがわかるように、岩の形、葉の色、広がり方などを細かく描いて工夫しました。また、友達と一緒に海の近くまで行き、見える角度や距離を変えながら良い作品に仕上げていきました。バランスを良くするために、遠近法を使って描いたのですが、思ったよりも難しく苦戦しました。うまくいかない部分もありましたが、友達や先生と話しながらかくことができ、自然の中で楽しい写生大会となったのでよかったです。

来年はもっとうまく遠近法を使ってバランス良く描けるようにしたいです。そして友達と一緒に楽しい行事のひとつにしたいと思います。



初めての写生大会

B組 押田 陸

私は初めて写生大会に参加しました。初めてのことで、どこからどのようにして描けばよいかわかりませんでした。自分なりに描く場所を選ぶことによってうまく描けるのではと考えて、右側全体が見える所から描き始めることにしました。いろいろな岩や橋のポール、部品の一つ一つを細かく描くのはとても大変でした。時間もあまりなかったので、早く美しく描くことを意識しました。特に、天候を表す青と白のグラデーションがとても難しかったです。何とか最後までギリギリになって完成しましたが、空の部分がきれいにまとまらず、納得できる作品にはなりませんでした。クラスメイトたちから「うまいよ」と言ってもらえたので嬉しかったです。来年は、今回の反省を次回につなげ、もっと完成度を上げたいと思いました。



写生大会で見た景色

A組 山守 うらら

私は、中部初めての写生大会で思い出に残る絵を描きたかったので、見たままの色を意識しました。どこを描こうか迷いながら橋の下を通ってみると、海の水と橋の下の影の色の変化がとてもきれいに映っていたので、そこを描いてみようと思いました。また、友達の海の描き方も上手だったので、それも参考にしながら描いてみました。下の方から見る橋を描くのは難しかったですが、斜めから見たり、横から見たり、いろいろな角度から見て立体感を出してみました。岩や橋の向こうの建物などもよく見て描きました。少し時間が余ったので、空に雲を描き足してみたらとても良くなりました。

また来年も同じ場所で描く機会があれば、今年とどんな変化があったか見つけながら描きたいです。

写生大会を通して

B組 平井 陽向

私は風景を写生する時に、より鮮やかに表現したかったので、たくさん色を使って塗ってみました。しかし、思ったようにはいきませんでした。その細かい岩や影をしっかりと描くことで立体感を出すことを意識しました。また、たまに遠くから見ると、どんな感じにできているか確認しながら描きました。光の差し込み方や、川や海の水の写真をよく撮るので、そのきれいな写真を思い出しながら描きました。海の手前に川があったので、そこを全般的に描きました。川が思っていたより濁っていましたが、あえてその部分も正確に表現してみました。

今回は違った景色が見える場所を選び、色鮮やかにどういうところを意識するのかを細かく考えながら工夫したいです。時間が思ったより短かったので、もっと集中して描きたいと思いました。

学年だより 中2

2回目の葛西臨海公園での写生大会

期末試験明けの9月15日、恒例の写生大会が葛西臨海公園にて行われました。2回目ということで、去年との比較、今回頑張ってみたことなどを盛り込んだそれぞれの感想をご覧ください。

花を見ながら

A組 遠藤 秀香理

今回の写生大会では、花を中心に絵を描きました。花を中心に描いた理由は、色の良いきれいな花がたくさん広がっていたからです。去年描いたのは、夏といえば海と思い選びました。自分が見ている景色がどうやら伝わらぬか、いろいろ工夫しました。来年は海でも花でもなく、また違ったものを見つけて描きたいです。

観察眼

A組 杉田 虎之介

今回は、前回とは違う場所で違うものを選びましたが、前回より良くなったと感じました。それはなぜかと考えた時、よく観察をしているからだと思います。例えば、橋脚についているフジツボだったり、水面に映っている橋の色だったり、雲の形などもよく観察して描きました。来年もよく観察してさらに良いものを選びたいです。

去年とは別物に!

A組 中込 紫門

私は前回、時間配分を間違えてしまったので、今回はちゃんとペースを考えながら描きました。場所選びにも気を付け、去年は絵が立体的でなかったから下手に見えたと思ったので、今回は立体的に描いてみました。そうすると、初めて友達から絵がうまいと褒められたのでとても嬉しかったです。来年も今回と同じように良いものを選びたいです。

私が描く夏の空

A組 原 妃希

私が写生大会で頑張ったことは、目に映っている景色をどれだけ絵に忠実に再現できるかです。去年は絵にあまり興味がなく、雑になってしまいましたが、今年はグラデーションを試みたり、少しぼかしてみたりと工夫することができました。去年は見られなかった景色を今年見ることができたこと、それを絵に描けたことがとても嬉しかったです。



みんなの写生大会

B組 石井 瑛智

今年の写生大会は暑かったので、私は涼しそうな絵を描こうと思い、お花畑を選びました。頭の中に花々をイメージすると、鮮やかな花びらや緑の葉っぱが揺れて、なんとなく涼しく感じられると思ったからです。お花畑の花々を点でたくさん色鮮やかに描くのを頑張りました。丁寧に描けたことが、去年より成長できたと思います。

友達と描いた葛西臨海公園

B組 岡田 悠希

今年の写生大会は、1年生の時と同じ友達と描きました。入学当初は、友達ができるか不安だったのに、あっという間に、仲の良い友達がたくさんできて嬉しく思います。絵の出来具合は去年と変わらず、時間も足りず不十分になってしまいましたが、今年は友達が増えたので、いろいろな友達に絵を見せてもらったり、自分の絵を見せたりして笑い合えたことは成長できたと思います。

写生大会での成長

B組 鹿島 鴻

今回の写生大会では、遠くの風景と近くの風景を一緒に描く時に馴染ませることを意識して描いた。遠近法を使って近くのもの大きく、遠くのを小さく描くが、その時に遠くのものが見えづらくなるので、遠くのものもしっかり描くようにした。また近くのものも細部まではしっかり描くということを意識して描いた。そのおかげで絵の全体が見やすくなり、すっきりした絵になった。

涼を求めながら

B組 齋藤 璃空

前回よりも使う色の種類が増えて河川敷の写生が大変になりましたが、塗り忘れのないように仕上げるのを頑張りました。今回は友達のおしゃべりが少なくなった影響か、時間に余裕を持って描くことができました。最初こそ暑かったですが、木陰で川のスケッチをしていた、時々虫も視界に入っていたので、涼しさと自然を感じられたよかったです。

学年だより 中3

～写生大会～

9月15日(金)、青空の下、葛西臨海公園にて写生大会を行いました。心地よい風を感じながら、思い思いに絵を描いていました。

またいつか

A組 伊藤 拓也

前期期末試験の翌日、温かい陽気の中、葛西臨海公園で3回目の写生大会がありました。
1年目は離島で、2年目は野原で、そして今回の3回目は松の木の下で木の枝を描きました。とても大きい木だったので描くのに苦労しましたが、納得できる出来栄の絵が描けました。
3年目に初めて木陰で絵を描きましたが、日なたで描くより涼しく、絵を描くことに集中できました。松の木を題材にした人がほかにもいましたが、それぞれの個性が出ており、見ていて楽しかったです。葛西臨海公園は、またいつか来たいと思う素敵な場所でした。

写生大会を通して

B組 徳永 聖直

僕は、あまり絵が得意ではありませんが、この写生大会は、とても楽しむことができました。理由は、葛西臨海公園に行き、キレイな自然を見て、友達と一緒に笑いながら絵を描けたからです。友達と話しながら描いていると、仲がより一層深まりました。3年間の写生大会を通じて、友達との仲や、自分の感性をこれからも大事にしようと思いました。
今でも、絵を描くことは得意ではありませんが、美術の授業の楽しみ方を、この写生大会で学んだと思います。

最後の写生大会

A組 連 彩絢

今年の写生大会は、最後の写生大会でした。とても天気が良かったので、クラスの友達と木陰にレジャーシートを敷いて、雑談をしながら楽しく絵を描くことができました。
絵を描く時は皆、集中して風景を描いていましたが、時々近づいてくるアリに友達が驚いたり、とても面白かったです。
高校生にはなく、中等部のみが行う行事なので、特別感があったり、期末テスト翌日に行われたりと、楽しみな行事だったので、終わってしまい少し寂しいです。しかし、中等部最後の写生大会を楽しく、面白く終えることができたので、良い思い出になりました。

絵を描く素晴らしさ

B組 高橋 麻椰

私は、3回の写生大会で学んだことが2つあります。
1つ目は外で絵を描くことの楽しさです。私は小さい時から塗り絵やアニメのキャラクターを模写するのが好きで、毎日絵を描いていました。しかし、風景画を描いたことや、外で絵を描くことは一度もなかったため、この行事は私にとって新鮮で良い経験になりました。
2つ目は、誰かと一緒に絵を描くことの大切さです。友達と協力することで自分のアイデアとは違ったアイデアを聞けるので、絵がより良い仕上がりになりました。
写生大会を通して学んだことを、美術の授業で活かしていけたらいいと思います。



木陰で楽しくお絵描き



皆で仲良く題材決め



真剣に向き合っています

学年だより 高1

初めての体育移動授業

9月20日に、1学年2、3、4、5、10組の生徒が初めての体育移動授業に参加しました。普段とは雰囲気の違い、さいたま総合グラウンドでの体育の授業を受けた感想を書いてもらいました。

2組 体育移動授業で感じたこと

村上 花凜

体育移動授業で、友達と一緒に協力し合って体育をすることができました。初めてテニスをやりましたが、バドミントンとは違って、少し難しかったけど友達に教えてもらいながら楽しくできてよかったです。フットサルでは、試合に夢中になって5分があつという間に感じました。得点も決めることができ、さらにクラスが団結してよかったです。

3組 みんなで褒め合った体育移動授業

鎮目 幸大

僕はソフトボールに参加しました。今回のソフトボールでいいなと感じたことがあります。いいプレーなどが出ると「ナイスプレー」など声をかけ合い、お互いのことを褒め合っていたことです。また、全員が審判、ルールに従い誰一人文句を言う人もいませんでした。このようなことが本当のスポーツマンシップだと感じ、とても楽しく良い試合ができました。

4組 初めての体育移動授業

西村 亜樹

今回、初めての体育移動授業でテニスとフットサルをやりました。私は今までテニスをやったことがなかったのですが、自分から友達を誘って試合形式で行うことができ、良かったです。フットサルでは、普段あまり話さない人とチームになってパスを回したり、シュートを決めたりするのは難しかったですが、楽しかったです。

5組 体育移動授業を通して感じたこと

阪 俊太

体育移動授業を通して感じたことは、協力することの重要性です。授業が始まる前に時間短縮をするため、「みんな早くグラウンドの真ん中に集合しなさい」という先生の呼びかけに対して、みんながその話を聞き、行動をした結果、授業の進行がものすごく早くなりました。これを通して、協力することは改めて重要だと感じました。

10組 体育移動授業で学んだこと

内海 多佳音

今回の体育移動授業では、前回のさいたま総合グラウンドで行ったスポーツ大会に比べて、クラス全体が協力して行っていたように感じました。最後まで全力で競技に取り組んだ結果、自分が参加したフットサルでは2チーム合わせて2勝することができました。全力で取り組むことの大切さを学びました。



学年だより 高2

建学祭 ～研修旅行のポスター展示～

高校2学年では、建学祭の出店として、研修旅行のポスターを展示しました。沖縄・北海道・カナダ・ハワイ、各コースの魅力を詰め込んだポスターとなりました。作成に携わった生徒の感想と一緒にご覧ください。

1組 坂上 希々栞

ポスター制作を通して、研修旅行の思い出が経験としても知識としてもより美化されたと感じました。また、移動中バスガイドさんから教わったり、いろいろな場所で見て、聞いて、インプットした知識をポスターに書くことでアウトプットができたので、記憶として強く残りました。約1週間かけて行ったたくさんの場所の魅力を詰めたポスターとなりました。



北海道優秀作品



カナダ優秀作品

2組 竹村 香保

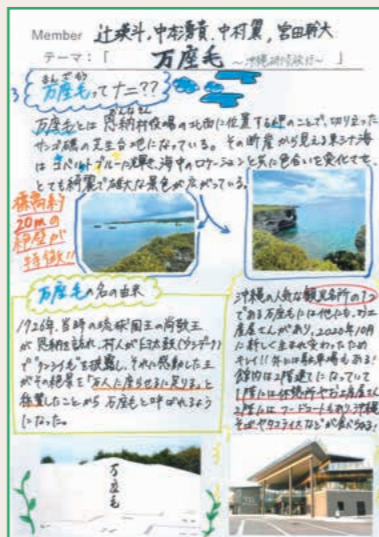
コロナもだいぶ落ち着いた頃に行われた研修旅行。ハワイで3日目に訪れたシークレットアイランドは、自然豊かでさまざまなアクティビティが楽しめる素敵なプライベートビーチでした。ポスターには多くの写真を使用し、ビーチの魅力を伝えてみました。このポスターを通して、シークレットアイランドだけでなくハワイ全体に興味を持ってくれたら嬉しいです。



ハワイ優秀作品

5組 三橋 力也

レポートを書くにあたって、沖縄の魅力がより伝わるように、色を使うことや写真をうまく使うことを意識しました。また、見た人が沖縄にどんな食事やお土産があるのかわかりやすいように意識しました。沖縄に行った時の思い出を思い出しながらレポートを書いていたら、また沖縄に行きたいと思いました。



沖縄優秀作品

学年だより 高3

探究活動II ポスターセッション

10月2日にアリーナで探究活動IIのポスターセッションを行いました。昨年取り組んだ探究活動Iからの積み重ねの成果を高校2年生、中部部3年生に向けて発表しました。各グループ堂々と発表ができていたのではないのでしょうか。今回はその感想を紹介します。

1組 逢坂 颯真・前田 陽汰・森 昭喜

「SNS依存に対する対策」

文責：逢坂 颯真

部活動や委員会以外では関わることのない2年生や、中部部生の人たちに対して、ポスターセッションができてよかった。自分たちの準備不足もあったが、学年が違うだけで興味や関心を持つポイントが違い新鮮だった。

2組 吉原 麻央・佐藤 利乃・塩原 大和

「印象のいい服装」

文責：吉原 麻央

私たちは、印象のいい服装について発表しました。発表中はなるべく相手を見るように心がけましたが、緊張で練習通りでない部分がありました。ですが、とても良い発表ができたと思います。今回の反省点を別の機会にも活かしたいです。



3組 高橋 海音・網代 正吾・楊 為和

「温度による味覚の変化」

文責：高橋 海音

去年行われた先輩方のポスターセッションと同じ舞台に立つことができました。いざ、後輩に探究の発表をすると緊張してしまい、言葉がたどたどしくなりましたが、身振り手振りを大きくし、楽しく発表をすることができました。

4組 浦田 裕太郎・浦村 朔矢・小川 莉那

「ディズニーリゾートがお客様満足度1位を維持できるわけ」

文責：浦村 朔矢

発表をして良かった点は、ほぼ制限時間内に終えることができたこと、周りの声に負けず、聴衆に聞こえるように声を出したこと。改善点は原稿を見過ぎてしまい、アイコンタクトをとれなかったことです。興味深い質問をしてもらえたので、ディズニーについてもう少し詳しく調べたいと思いました。

5組 柿崎 理緒・西野 海士郎・人見 心

「日常生活の中で幸せを感じる時はいつか」

文責：柿崎 理緒

2年間探究してきたことを発表することができ、とても良い経験になったと思います。高輪台高校に入学しなければ、このような探究活動の授業を受けることはできなかったと思うので、この経験を活かし、大学に進学してからも興味を持ったことには探究していきたいと思っています。

6組 内田 隆聖・種村 堅太郎・萩原 瑞咲

「流行したアーティストの共通点」

文責：種村 堅太郎

今回の2年間の探究活動の目玉であるポスター発表だが、思ったことは2つある。1つ目は、自分たちが興味あることを調べて発表すると、自信を持つことができるということである。2つ目は自分たちの声がそこまで大きくなかったこと。反省点は今後活かしていきたいと思った。



7組 石原 功輝・李 欣彤・中島 聖

「カップルが長く続く条件」

文責：石原 功輝

ポスターセッションを通して、僕は伝えることの難しさを実感しました。ポスターに図やグラフを入れて伝わりやすくしていましたが、発表の進め方や順序が大事であることを学びました。学んだことを今後の活動に活かしていきたいです。

8組 柏 知里・伊藤 大治・藤田 浩輔

「売れている飲食店の特徴」

文責：柏 知里

私たちは、この2年間で売れている飲食店の特徴について調べました。カフェとファミレスを調査した結果、さまざまな共通点がありました。発表を聞いている人に理解を深めてもらえるような工夫を凝らすことが大変でした。

9組 宇都宮 広平・坂岸 良太郎・入田 航介

「唐揚げ衣と油の関係」

文責：宇都宮 広平

ポスターセッションで、自分たちで調べた1年半の成果を発表することができました。自分たちの発表を相手に聞いてもらえるよう、ポスターの内容をより具体的に説明することを意識したので、充実した発表ができたと思います。

10組 梅谷 光

「菌の成長を阻害する食品」

文責：梅谷 光

僕は2日前に千葉大学での発表会に参加したおかげで、今回の発表会では、発表している最中に次どのような質問が来るかなど、ポスターを用いての発表をより自分のイメージ通りに振る舞うことができ、成長を感じることができる良い機会になりました。



お知らせ

ベストティーチャー・タイプA候補決まる

5月15日、9月4日に「生徒による授業評価アンケート」を実施しました。その結果、今年度のベストティーチャー・タイプA候補として9(7)名の先生方が決まりました。保護者の皆様には、11月4日(土)、6日(月)、13日(月)の「一斉公開授業」の際に9(7)名の先生方の授業をご覧ください、「保護者による授業評価アンケート」への回答をお願いします。

【2023年度ベストティーチャー・タイプA候補一覧(教科順)】

	教員名	教科
中等部	山田 壘斗	数学科
	石川 仁	理科
	眞崎 拓帆	理科
高等学校	今井 貴志	地歴・公民科
	山田 壘斗	数学科
	和氣 吉秀	数学科
	眞崎 拓帆	理科
	妻沼 省吾	保健体育科
	新井 達也	芸術科(音楽)

※付記

以下の過去3年間にベストティーチャー・タイプAを受賞した者は、規定により選考の対象から外れています。

2020年度：新型コロナウイルス感染症拡大により 該当者なし

2021年度：宇津 浩・山口 恵美子

2022年度：山田 武範・吉澤 俊介

※授業実施時間割は、学級担任または学校までお問い合わせください。
なお、「一斉公開授業」の時間割は、前日にClassitにて配信いたします。



本校では、教職員(常勤)が普通救命講習を受講し、いざという時に心肺蘇生やAEDを適切に扱えるよう備えています。長年のこの取り組みを東京消防庁より表彰していただき、感謝状をいただきました。

行事予定

※予定が変更になる場合があります。

November 11月

- 1日(水) GTEC Junior受検日(中1)
- 2日(木) 東海大学建学81周年記念日
- 2日(木) 高輪台高校創立79周年記念式典
- 朝礼・短縮授業 1時間目カット
- 3日(金) **文化の日**
- 4日(土) 一斉公開授業②
- 5日(日) 学校説明見学会⑤(高校)
- 6日(月) 一斉公開授業②(高校)
- 7日(火) 生徒自宅学習日
- 8日(水) 外部実力試験(中等部)
- 学園高大連携総合試験・基礎力判定テスト(高校)
- 9日(木) 作文コンテスト(中等部)
- 付属推薦小論文試験・小論文コンテスト(高校)
- 12日(日) 学校説明見学会④(中等部)
- 13日(月) 一斉公開授業②(中等部) 1~3時間目合唱祭(中等部)
- 14日(火) ダンス部定期公演(大田区民ホール・アプリコ 大ホール)
- 校医相談日⑦
- 20日(月) 生徒による授業評価アンケート③
- 23日(木) **勤労感謝の日**
- 25日(土) 保護者会(中3:13:30~)
- 27日(月) 生徒自宅学習日
- 28日(火) 後期中間試験(高1・2:~12月1日、中等部:~29日)
- 卒業試験(高3:~12月1日)
- 30日(木) スポーツ大会 AM(中等部) キャリア教育 PM(中等部)

December 12月

- 1日(金) 校外活動(中等部)
- 中間試験(高1・2) 卒業試験(高3)
- 付属試験合格発表(高3)
- 2日(土) 東海大学湘南校舎見学研修会(保護者対象)
- 特別講座開始(高3)
- 3日(日) 学校説明見学会⑥(高校)
- 4日(月) 朝礼・短縮授業
- 7日(木) 答案返却日(高3)
- 9日(土) GTEC受検日②(高校) 3時限授業(中等部)
- 東海カルチャーセミナー(13:00~)
- 後援会委員総会③(15:30~)
- 10日(日) 学校説明見学会⑤(中等部)
- 11日(月) 2時限授業 3時間目以降後期中間試験答案返却(高1・2)
- 12日(火) 校医相談日⑧
- 13日(水) 月曜日の授業日
- 15日(金) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 16日(土) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 付属推薦入学試験合格者説明会 オンライン(高3)
- 20日(水) 5・6時間目カット(12/16分)
- 23日(土) 冬期休暇前諸注意・大掃除(3・4時間目)
- 25日(月) 冬期講習(~27日)

編集後記

米国留学経験のある方から、「潔(きよし)」という自分の名前が持つ意味をアメリカ人に説明するのに苦労したと教えてもらいました。いわく、現地では最後まで諦めないことが美德とされるため、未練がましくないことが称賛される日本の文化は理解してもらえないとか。「謙虚」や「遠慮」など、他国では通じにくい日本的な価値観は他にもたくさんあり、識者はよく「だから日本人は駄目なんだ」などと言っていますが、それでもこうしたマインドを捨ててまで国際社会で生き残る必要などないのではないか、と思ってしまうのです。潔いでしょ?(の)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>